

川崎市議会議員

浅野文直

「あなたの視点」  
川崎市議会報告

ブックレット ver



特集

小児救急医療と  
子育て支援



## あなたの街をふりかえって。

「平成16年版 大都市比較統計年表から見た川崎市」という政策資料があります。政令指定都市を含む14の大都市の指標を比較したものです。ここから私達の街がどのような特徴を持つのか確認してみます。

### ①どんな人が住んでいるの?(人口)

川崎市は大都市の中でもトップクラスの若々しい街です。転出率が高いのが難点で、住民に気に入られる「終の棲家」になる街づくりが必要です。男性に比べ女性が少ないのも課題です。

生産年齢人口 (15歳～64歳)	73.9%(第1位)
老年人口 (65歳以上)	12.4%(第14位)
人口増加率	0.91%(第1位)
出生率	1.04%(第1位)
転入率	8.21%(第1位)
転出率	7.76%(第2位)
性比	107.3(第1位)

- ・子育て支援、就労支援が急務!
- ・老後の安心して暮らせる環境整備が必要
- ・女性にとって魅力ある街づくりが必要

# 若々しい

### ②お年よりは元気?(介護保険)

人口規模や年齢構成から見ても、要介護認定者数、給付支払い金額ともに川崎は少ないが...

- 要介護(要支援)認定者数 29,482人(第11位)
- 保険給付支払い総額 383億9,104万3千円

・今後急速な高齢化が迫る!

### ③子供の遊び場は?(公園)

早くから都市化が進み、十分な公園面積が取れない。

- 都市公園面積 488.50ha(第14位)
- 市民一人当たり都市公園面積 3.7㎡(第12位)

・緑と憩いの場の保全が必要!  
・子供の遊び場が必要!

### ④安全な街なの?(警察)

犯罪や交通事故の発生件数は人口に比べても低く留まっています。また、検挙率は第5位と大都市平均を僅かながら上回っています。

- 犯罪認知件数(人口千人当たり) 21.0件(第12位)
- 検挙率 30.7%(第5位)
- 交通事故件数(人口10万人当たり) 565.8件(第14位)

・川崎はイメージよりも安全な街

<http://2370.net>

### ⑤お金の流れは?(商業・金融)

- 商店数 10,327 (第12位)
- 年間販売額 3,039.567百万円 (第14位)
- 卸・小売販売額比 1:0.6
- 金融預貸比率 65.4% (第5位)
- ・ 街の活性化の爲にもバランスのとれた  
インフラ整備が必要!
- ・ 費用対効果の薄い資金投下はムダ!

## 先端の街づくり そんな可能性を 川崎は持っています。

### ⑥どんな仕事があるの?(産業)

工業従業者の減少が著しい中、先端技術に関わる  
情報産業の躍進が目立ちます。

- 工業従業者数対前年度増加率 -7.1% (第14位)
- 学術・開発研究機関従業者数 12,267人 (第2位)
- その割合 2.74% (第1位)
- 情報サービス業従業者数 28,140人 (第5位)
- その割合 6.28% (第1位)
- ・ 工都川崎から、情報産業都市かわさきへ!

### ⑦どんな家族が住んでいるの?(世帯類型)

住環境としての川崎市は特段優れている訳ではない  
ようです。  
終の棲家と思っていない人の多さがここにも表れてい  
るようです。

- 世帯あたり人員 2.2人 (第10位)
- 65歳以上の親族のいる世帯 22.5% (第14位)
- 持ち家比率 45.2% (第12位)
- 共同住宅比率 70.5% (第2位)
- 一人当たりの延べ面積 61.7㎡ (第14位)
- ・ 共同住宅に住む、核家族が多い
- ・ 賃貸など、定着を前提としない層が多い

平成19年度予算案 (平成19年3月定例会)

●平成19年度 各会計予算●

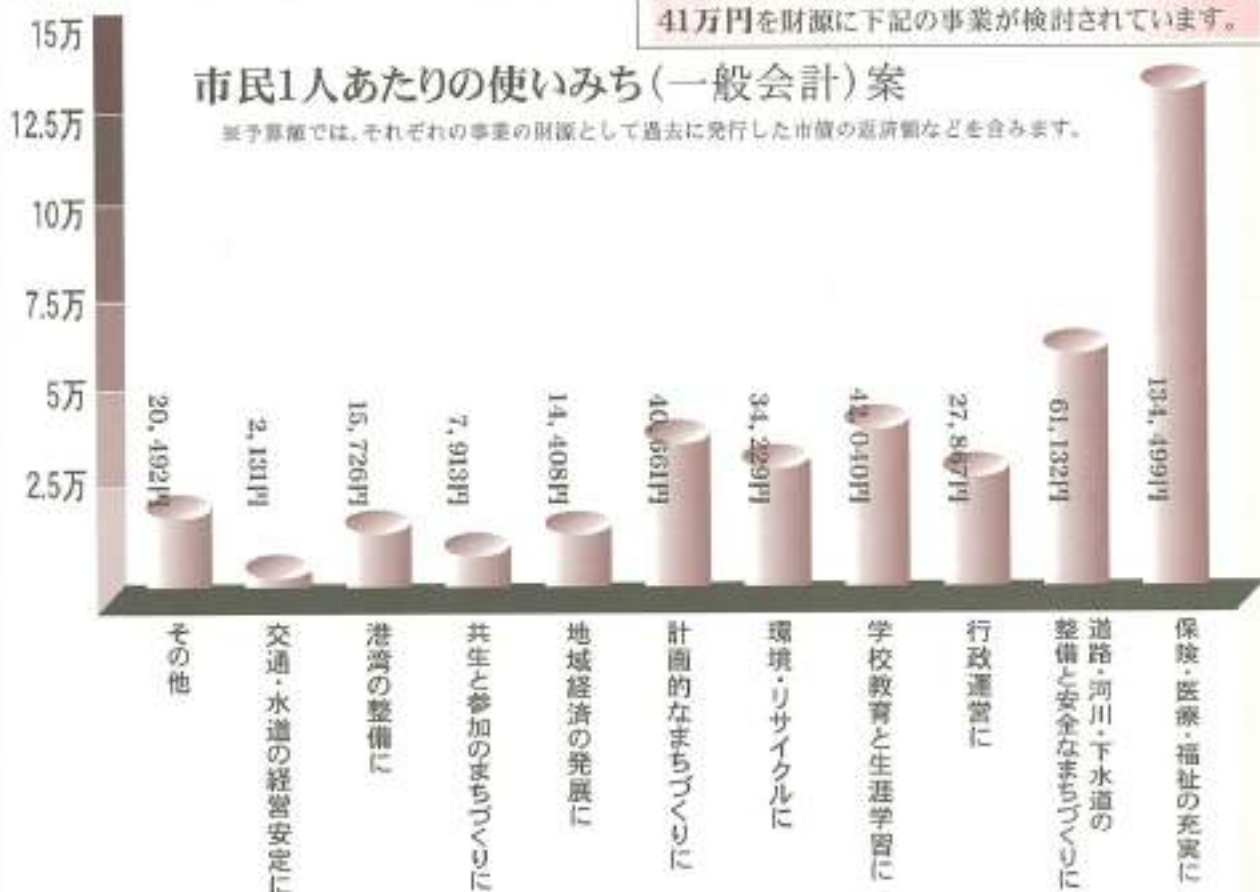
会計名	予算	前年度比
一般会計	5,523億9,355万円	1.2%増
特別会計(14会計)	5,218億20万円	4.4%減
企業会計(6会計)	2,045億5,859万円	6.8%増

2007年度  
市民一人当たりの予算額  
と市税の使いみち(案)

平成19年度一般会計予算案では、市民1人あたりに換算すると市税等の額は21万円となっており、これに国や県からの補助金・交付金、市債などを加えて、総額41万円を財源に下記の事業が検討されています。

市民1人あたりの使いみち(一般会計)案

※予算額では、それぞれの事業の財源として過去に発行した市債の返済額などを含みます。



川崎市議会議員 浅野文直のホームページ「2370.NET」

このホームページは、川崎市の市債から導き出した額を元に算定されています。

平成19年度始めの一般会計市債残高は9226億9189万円です。この額に対しての1年間の増額は56億9189万円です。

これは、  
1月で 4億7432万4000円  
1日で 1581万1000円  
1時間で 65万9000円  
1分間で 1万1000円  
1秒で 183円

という計算になります。  
つまり、55秒で1万円ずつ借金が増えていくのです。  
尚、全会計を合わせた平成19年度末の市債残高は1兆5121億7497万円であり、さらに主な出資法人の債務を合算すると、1兆9000億円を超えます。

川崎の借金時計

川崎市の借金

9 2 2 2 億 2 8 3 0 万円

あなたの家庭の負担額は...

1 5 3 万 7 0 4 7 . 1 7 円

浅野の  
視点

子や孫に誇りをもって街を引き継ぐ

川崎市はこれまで、法よりも労使交渉を優先する体質的構造欠陥を持っていました。ここにメスを入れない限り市民が納得する行財政改革はないと考えます。!

【平成14年度～平成16年度】

第一次行財政改革プラン

- 1,214人の職員を削減
- 5つの出資法人を統廃合
- 特殊勤務手当、廃止20、見直し22
- 京浜急行大師線連続立体交差事業  
など、都市基盤整備の見直し、効率化
- 公立保育所の民営化の推進  
☆その他にも多くの改革に努めて  
320億円の効果

【平成17年度～平成19年度】

第二次行財政改革プラン  
(進行中)

- さらに1,000人の職員削減
- 人事評価制度の運用
- 特殊勤務手当を9手当廃止
- PF工事手法の導入
- 総合コンタクトセンターの実施  
☆その他にも多くの項目に着手  
して、現在184億円の効果

こうした効果が小児医療費助成の年齢拡大や私立幼稚園園児保育料の拡充などに還元されています。

Non-Stop  
議会改革

平成17年3月まで議会運営委員会の一員として改革路線を敷いてきました。これを止めることなく、議員定数や政務調査費の問題などに取り組みます。

これまでの議会の改善点

- 決算審査特別委員会の一本化
- 本会議のインターネット中継
- 議案説明の短縮化
- その他15項目を改善

効果

- 当局経費として  
7,650時間の節減
- 議会直接経費  
800万円の削減

今後

- 政務調査費
- 議員定数
- 請願、陳情審査のあり方
- 速記官のあり方
- ・・・etc

議員となり本会議場に入り、一番最初に感じた違和感は速記官の有益性でした。

当時は無人化の効果が低いとされていて導入されませんでした。過日、浅野の提案により実証実験を行いました。

(約数百万円の節税効果見込み)



音声認識会議録作成支援システムをテスト

市議会が2年前からスタート





## 浅野文直の通信簿

みなさんとの約束の再確認です。

皆様とした約束を実現する為に、どのように議会活動をしてきたかご報告申し上げます。

川崎市議会議員 浅野文直

### 評価欄——科目

#### ■誇りと尊厳もてる教育システム

平成15年12月3日の代表質問にて教科書採択制度における問題点を指摘。教育委員会の権限と責任に基づき、適切な採択が出来る様に検討を促す。また、学習指導要綱に基づいた国旗・国歌の指導と理解の徹底を指摘。

#### ■究極の行財政改革

建設局下水道事業体制における43名の職員削減をはじめ、さらなる経営効率化を推進中。

平成15、16、17年度で1,214名職員削減及び、平成15、16年度で特殊勤務手当を20億停止して、累計で15億1千万円の削減効果。

平成17年3月の予算審査特別委員会において、給与制度の再構築、健康保険料職員負担率について質疑。平成19年度より給与表替へ。

#### ■交通インフラ整備

・鷺沼駅—南野川間のバス増便は平成15年6月18日に実現。

・鷺沼駅—聖マリanna病院間のバス路線新設は、平成15年7月9日の一般質問にてバスペイの確保など研究中となり、平成16年9月30日の質問にて平成17年度中の調査へ。

・現在、警察と話し合いが終わり、路線の需要調査済。

平成18年12月18日の一般質問にてアンケートに基づき延伸を検討中。

#### ■小児医療体制・保育施設拡充

平成17年度は、129名の枠増。

平成18年度は、295名の枠増。

平成19年度は、660名の枠増。(新設・認可含む)

平成18年2月開院の市立多摩病院に小児科区部10名体制と発達療育外来を整備。

#### ■ドッグラン

議会において何度も取り上げてきた「ドッグラン」ですが、まだ実現には至っていません。但し、ワークショップ提案により平成20年4月開園の(仮称)東扇島緑地に「ドッグラン」の設置が決定し、建設を進めています。

※上記以外の長期分野は、随時ご報告致します。

## 1期目の約束の進捗状況は、是非

## ホームページ

<http://2370.net>で

ごらん下さい。

## これが実現!

皆様とのお約束の1つである鷺沼駅—南野川間の折り返し運転によるバスの増便が実現。



## これが実現!

鷺沼駅前に土日昼夜利用できる行政サービスコーナーを設置。



アンケート①:市民の関心ごと(平成18年度 川崎市民意識実態調査報告書より)



<http://2370.net>

# 浅野文直の政治資金収支報告

平成18年1月1日から12月31日までの収支報告です。  
尚、スペースの都合上、浅野文直に関する四つの政治団体の  
収支を合算しています。又、重複計上を省き純会計としています。

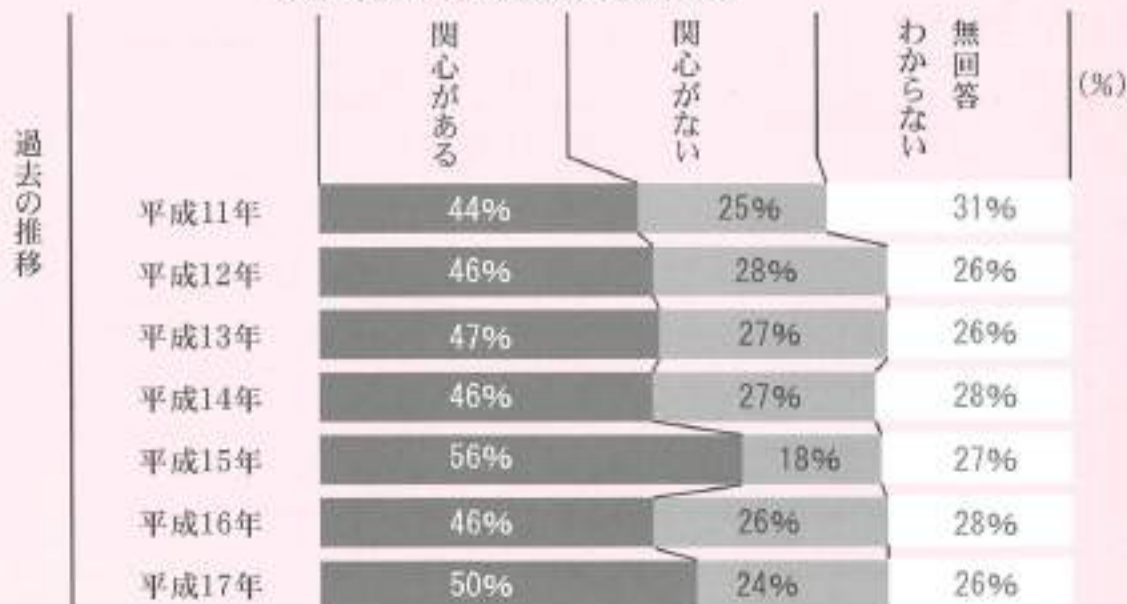
平成18年度支出 10,585,127円	経常経費+政治活動費 6,248,893円+4,336,234円	
経常経費 6,248,893円	光熱費	149,151円
	事務所費	2,053,011円
	備品・消耗品費	1,709,501円
	人件費	2,337,230円
政治活動費 4,336,234円	組織活動費	2,832,942円
	宣伝活動費	1,293,900円
	その他	209,392円
平成18年度収入 11,848,479円	前年度繰越額	1,123,474円
	個人会費	2,633,000円
	個人からの寄付	6,492,000円
	団体からの寄付	1,600,000円
	その他	5円
	合計	11,848,479円

儉約して活動を続けておりますが、事務所の維持、人件費、広報誌の  
作成など例年この程度の活動費を必要としています。

★『議員の給与明細もホームページで公表中!』

## アンケート②：市長や議員がどんな活動をしているか

(平成18年度 川崎市民意識調査実態調査報告書より)



～ 前期の論戦一覧についてはホームページに掲載しておりますので、そちらを御覧ください～

## 浅野文直の質問内容

- 平成19年3月7日 (予算審査特別委員会)
  - ・幼稚園保育料補助事業について
  - ・小児救急医療について
  - ・その他
- 平成18年12月18日 (定例会)
  - ・斎場事業について
  - ・宮前区コミュニティバス及び、葛原駅一帯マリアンナ医科大学病院間のバス路線の確保について
  - ・公共工事の発注平準化について
- 平成18年9月27日 (決算審査特別委員会)
  - ・職員厚生会に対する補助について
  - ・投票事務従事者の時間外勤務手当について
  - ・DV被害女性への支援について
- 平成18年8月28日 (第2回定例会)
  - ・環境アセス内地域内での開発行為について
  - ・公園内の看板設置について
  - ・宮前区地域ポータルサイトの開設について
  - ・その他、道路改修3件について
- 平成18年3月10日 (予算審査特別委員会)
  - ・私立幼稚園園児保育料等補助事業について
  - ・地方協議会移行に伴う発行管理について
  - ・離職者への補聴器給付について
  - ・大瀬川原水貯留管整備について
  - ・尻川川線3期整備について
- 平成17年12月16日 (定例会)
  - ・国民健康保険事業について
  - ・公用車のあり方について
  - ・公共施設の建物清掃入札について
  - ・下水道計画の変更と今後の対応について
  - ・稲荷坂周辺の交通対策について
- 平成17年10月 (決算審査特別委員会)
  - ・副委員長の高、質問に立す。
- 平成17年3月10日 (予算審査特別委員会)
  - ・給与制度の再構築、健康保険料職員負担率の見直しについて
  - ・私立幼稚園保育料補助事業について
  - ・路上パーキングの整備について
- 平成16年12月21日 (定例会)
  - ・行財政改革について
  - ・入札契約制度について
  - ・職員の不祥事に対する処分について
- 平成16年9月30日 (決算審査特別委員会)
  - ・寝たきり老人等に対する歯科診療3事業について
  - ・幼稚園、小学校等におけるフッ化物塗布について
  - ・バスの整備促進について
  - ・葛原駅一帯マリアンナ病院間のバス路線の新設について
  - ・平成17年度予算編成方針について
- 平成16年7月28日 (全員説明) 代表質疑
  - ・新総合計画案案について
  - ・電子入札システムのレスポンス低下について
  - ・公共施設の購買の委託について
  - ・登戸駅南口ペDESTリアンデック築造工事入札について
- 平成16年3月5日 (予算審査特別委員会)
  - ・こども文化センターの光熱費等について
  - ・風呂プロジェクト中止の影響について
  - ・まちづくり推進事業について
  - ・新総合計画における地下鉄事業の位置付け
- 平成15年12月11日 (決算審査特別委員会)
  - ・クリーン軽油について
  - ・国民健康保険普通徴収交付金について
  - ・補聴器の基準について
- 平成15年12月3日 (定例会) 代表質問
  - ・市政一般16項目及び議案7件について
- 平成15年10月7日 (定例会)
  - ・審議会等の非常勤職員について
  - ・在宅介護支援センター相談員員について
  - ・代替地用の未利用地について
  - ・住居系地域の工場の騒音・振動について
- 平成15年9月22日 (決算審査特別委員会)
  - ・下水道財政収支計画について
  - ・水道の検針業務委託における他業者参入について
  - ・市バス(包括外部監査)にみる改善状況について
- 平成15年7月9日 (定例会)
  - ・葛原駅一帯マリアンナ病院間のバス路線の新設について
  - ・老人いこいの家のトイレ設備等について
  - ・保育士免許制度について
  - ・川崎再生アクションシステムと後方事務作業見直しについて

## ⇒ 進捗状況

- 川崎市議会インターネット中継  
<http://www.kawasaki-council.jp/>
- 外部監査的視点での検証
- 敷金返却と駅間道で意見交換へ・コミュニティバスは引き続き支援
- 円滑な引継ぎなど、工事の早期発注や更なる平準化に努める
- 投票事務従事者の時間外勤務手当についてより公正化、適正化への見直し
- 週休日振替を原則として、2,600万円の削減を図る
- 女性指議員だけでなく、センター全体での支援を徹底
- 区画買収の変更の定義を明確化等
- 適所に必要最小限に設置へ
- 無駄を厳しく追求!
- 関係各団と話し込み、当該町会と協議へ
- さらに増額求めて、7月4日に市長に要望
- 行政改革推進団体の危険性を指摘
- 4月より制度拡充
- 優先順位の確認
- 入札ガイドラインの作成を市側が報告
- 新制度による本市影響を検証
- 車両・人員の削減と民間企業の活用を検討
- 同一業者受注の弊害と障害者の福祉的役割としての場の確保を後対へ
- 宮崎地区に淡水処理場を整備へ
- 右折レーン整備へ
- 給料見直し決定へ!
- さらに充実へ!
- 平成18年4月より市道線の規模変更へ!
- 財政分析と直営事業の民営化促進
- 検証中
- 達成部分に併せて弊害部分の検討
- 改修工事と協議会等での検討
- 普及促進と導入の検討
- 関係局にて早急な検討
- 平成17年度にて調査
- 要求基準における自主的判断の確認!
- 基本目標、基本政策について1時間10分あたり市長・局長に質疑
- システム障害対策及び対応の徹底
- 公正な委託業務へ向けに指導
- 入札基盤、公正取引委員会質疑が調査
- LPガスの契約単価改定!
- 汚染対策への徹底指導
- 定期的な見直し作業へ
- 政治判断及び位置付けを市長に言及
- 平成18年度中に指定減少装置に完全移行
- 行政と議会が協力して国へさらなる働きかけ
- 平成17年4月より離職者用補聴器給付事業を新設
- 新総合計画をはじめ2時間50分にわたり市長・局長に質疑
- 付属機関や専門委員等の統廃合及び見直し
- 活動内容や業務体系の再チェック
- 利用有無の早急な決定と受講者への誠意ある対応へ
- 深夜、早朝授業への確しい対応と回別連携へ
- 経営効率化と組織体制の見直し
- 研究中
- 入件費等の改善状況の確認と交通不便地域解消への要望
- (検討中) バスベイ探し
- 設備改修へ
- 登録事務の負担軽減
- 民間手続導入を研究中



市議会で、浅野文直議員の質問が、市長に答えられた。市長は、浅野議員の質問に対して、丁寧な回答を行った。浅野議員は、市長の回答に対して、さらなる改善を求めた。市長は、浅野議員の要望に対して、可能な範囲で対応する旨を述べた。





## 子育てで"悲しい思い"は無くしたい!

### 体験

わが子が何度も救急車で運ばれたり、小児特定疾患として長期間国立小児病院に入院となった体験から小児救急医療の充実、体制整備の必要性を切に感じています。

### 現状



**北部小児急病センター**  
 (多摩休日夜間急患診療所内)  
 医師は川崎市医師会より派遣  
 年間患者数:12,559人  
 救急ストップ:0分



**南部小児急病センター**  
 (川崎病院内)  
 医師は川崎病院で対応  
 年間患者数:14,205人  
 救急ストップ:一日平均150分

### 課題

- 川崎市中部地域のカバー
- 南部小児急病センターは、川崎病院で受け持っているが、年間40万人を超える一般外来や入院患者、救急外来の対応の為、病院内は常に戦場と化し、止むを得ず小児救急が一日平均150分間ストップしている。
- 今後は、川崎病院に対して新生児集中治療や周産期医療への期待も高まっていく。

### 対策

- 中部小児急病センターの開設。  
 [その為には、医師会や民間病院の協力が不可欠]
- 南部小児急病センターの見直し。  
 [救急ストップの解消と川崎病院の役割、並びに企業会計の観点からも日中の病診連携の強化はもとより、北部のような運営移行が急務]

## あなたが掛けられる育児費用は？

- 1ページの人口統計の性比が示している通り、川崎市は男性に比べ女性が少ない街、イメージなのか、子育てしづらいのか、どちらにしても都市として魅力が問題では？
- 少子化問題は、高齢化、環境対策と並んで最優先課題です。



平成17年度から神奈川県及び川崎市の幼稚園父母の会連合会の会長を努めています。

幼稚園教育の向上と保育料補助増額に全力を尽くします。

平成18年度にて、改革の効果還元として保育料補助が大幅増額に。

未就学児  
0～5才

## 育児支援補助と課題

次世代育成支援・少子化対策について取り組みが急がれる中、今回はその中でも未就学児(0～5才)世帯への公金補助について考えてみます。

国  
税  
県  
税  
市  
税

児童手当

- ・平成19年4月からは、0～3才児には一律月額1万円を予定  
4才以上は第1子、第2子に月額5千円、第3子以降月額1万円
- ※所得制限は扶養人数によりますが、年収860万円未満が目安です

私立幼稚園  
(保育料等補助)

- ⑤ H19年度は約8万世帯に84億円(未就学児含)支給予定
- ・5つの所得層と就園人数で基準を設けて、1人年額4,400円～257,000円を支給

保育園

- ※市内幼稚園のほぼ100%が私立幼稚園
- ⑥ H19年度は24,516人に約15億円支給予定
- ・就労支援の観点から所得に応じて保育料は大幅に軽減し、その分を公費で負担している

自主保育

- ※保育所児童ひとりあたり月額13万円を公費負担
- ⑦ H19年度は12,250人定員に202億円の公費負担を計上
- ・自主保育グループ(13団体)へ年間4万円程度の活動費補助  
社会福祉協議会を通じて勉強会や交流会への活動費補助
- ⑧ H19年度は約140万円支出予定

## 課題と対策

- issue① 幼稚園の就園奨励費は近隣都市に比べて半額以下と低い  
例) 川崎市 44,000～257,000円(入園補助なし)  
横浜市 47,000～304,000円(入園補助なし)  
世田谷区 106,800～409,400円(入園補助90,000円)  
太田区 112,800～421,400円(入園補助100,000円)
- solution① 圧倒的に園児が多く、取立て幼稚園で育てている世帯の為に大幅な増額を目指す
- issue② 保育園の待機児童対策  
例) 平成18年10月で1,394人(内、宮前区168人)  
みなし待機児童を含めると2,796人(内、宮前区375人)
- solution② 公設民営園の新設や増設。民営化と多機能化
- issue③ 保育園運営の公費節減と滞納料金  
例) 平成17年度で約2億7,000万円(全体の8.3%)の保育料滞納がある
- solution③ 厳しい収納指導と民営化
- issue④ 自主保育世帯へのフォロー
- solution④ 子育てグループの育成や活動場所の提供及び、相談窓口の拡充

<http://2370.net>



閑静な住宅街に突然計画されたこの件について、計画団体及び建物所有者と直接交渉を行い完全撤退へ。

● 東有馬ホームレス  
宿泊施設



渋滞解消に向け、右折レーンを設置。近日中に完成予定。

● 稲荷坂交差点  
右折レーン設置



地元町会、PTAと協力して点滅信号の設置等。

● 通学路の安全確保



ボランティアの方から寄せられた相談に対し、東急電鉄に相談の結果、工事・使用許可を取りイルミネーション設置。

● 鷺沼駅前ロータリー、  
イルミネーション



川崎市と横浜市の市境に建設計画中の墓地建設について、2度にわたり阿部市長に市民の皆さんと陳情。現在も継続中。

● 市境墓地建設問題

「あなたの視点」からみた宮前区地域における課題をお聞かせ下さい。

---

---

---

---

---

---

**あなたが市長なら、**  
次世代育児支援にどんな  
事業を計画しますか？

---

---

---

---

---

---

クリーンな政治の為に！  
—カンパのお願い—

カンパ振込先銀行口座  
【口座番号】みずほ銀行鷺沼支店(普)1970589  
【口座名】自由民主党神奈川県川崎市第四支部  
代表 浅野 文直

●こうしたブックレットは、毎回5万部～10万部お配りしています。また、行政相談に事務所やスタッフを常に用意しています。一部の企業や団体に頼らず政治を行う為に、皆様のカンパをお願い致します。

# 浅野文直

は様々な手段で  
みなさまと対話します。

<http://2370.net>

郵便はがき

2 1 6 0 0 0 2

恐れいりますが  
50円切手を貼って  
投函下さい

川崎市宮前区東有馬5-23-30

川崎市議会議員

浅野 あさのふみなお 文直 事務所 行

川崎市政アンケート

お名前	男・女 (年齢 才)
ご住所	(〒 - )
お電話	FAX
Eメール	

## プロフィール



昭和46年2月21日生まれ。  
現在36才

●群馬県立渋川高校卒業、  
国学院大学法学部法律学  
科卒業。弁論部幹事長と  
して活動。在学中から  
衆議院議員らの秘書とし  
て実践の政治を学ぶ。

デイサービスの運営を通じ、介護福祉について課題を追求。

●平成11年4月川崎市議会議員に初当選。  
現在二期目。自民党川崎市連筆頭副幹事長、  
環境委員会委員、宮前区民生委員推薦委員。

## 学生時代

高校時代はボクシング部、大学時代は  
弁論部幹事長として、ディベート・弁論  
大会、全国遊説を敢行。

趣味は、トランペット、将棋

切り取り線

発行所:自由民主党川崎市宮前区第4支部  
〒216-0002 川崎市宮前区東有馬5-23-30  
TEL 044-860-2370 FAX 044-860-2371  
E-mail:asano@2370.net